

2023年8月21日

報道機関 各位

長崎大学経済学部生が雲仙市でイベント企画 近未来!? 最新技術で遠隔ショッピング × 楽しく美味しく三世代交流 「夏休み、集まってくれるかな? いいとも!」

長崎大学経済学部の西村ゼミでは、雲仙市千々石町で行われている高齢者のサロンを中心に、スマートグラスを使った買い物支援を行っています。

※スマートグラス … フレームにカメラがついたメガネと ZOOM を用いてスーパーと公民館をつなぐ。

※スマートグラス利用の様子は以下の動画から。

この動画は、大阪府の四條畷市の公式動画 YouTube チャンネルに掲載されているスマートグラスを使った買い物支援デモの様子です。参考掲載：<https://youtu.be/fDIGETmNePE>

1. 新たなカタチのコミュニティーを創った背景

私たち西村ゼミが雲仙市で行っているサロンでは、参加者の減少やサロンサポーターの高齢化が課題となっています。この状況を改善するため、2021年度から雲仙市のフーズピープル（サンライフ株式会社）と連携し、長崎大学経済学部西村ゼミ、雲仙市社会福祉協議会、長崎市の協力のもと、高齢者の買い物支援活動を実施してきました。

私たちは先輩方がこれまでに積み上げてきた成果を引き継ぎ、2023年4月から新たな活動をスタートさせました。

地域の皆さまへのヒアリングでは、サンライフ株式会社の代表取締役である一ノ瀬様からは、長い間支えてくれた地域の方々への恩返しとして、フーズピープル千々石店の裏に100円均一ショップのセリアを展開したり、フーズピープル千々石店のスペースを活用して、餅つきイベントを実施したりするなど地域コミュニティーの発展に尽力されているという話を聞きました。

また、雲仙市社会福祉協議会の柿川様からは、地域のサロン参加者の減少が地域住民同士の交流減少につながっているという現状を聞きました。この交流の減少は高齢者だけでなく、子ども会などの若年層にも影響を及ぼしていることも分かりました。

産業界や公共機関の方に対するこのようなヒアリングを重ねていく中で、千々石地区には長らく子ども会が存在しないという事実も浮かび上がり、私たちはこれに着目し、高齢者に限らず地域の人々が参加できるコミュニティーの必要性を感じました。そのため、夏休み期間中の子どもたちが参加しやすい環境で、子どもたちが集まりやすい吾妻地区で三世代が交流できるイベントを企画し、実施することを決定しました。

- イベントテーマは「料理」です。テーマに「料理」を選んだのには次の2つの理由があります。
- ① フーズピープルとの連携を通じて、子どもたちにもスマートグラスを知ってもらいたい。
 - ② コロナ禍で制約があった大人数での調理や食事の楽しむ機会を提供したい。

今回の吾妻地区でのイベントをスタートとして、千々石地区を含む雲仙市内の各地区においても、多世代が参加できるコミュニティーを築くためイベントを計画し、実施することで地域住民同士の交流を促進し、より魅力的な地域づくりを進めていきたいと考えています。

今回のイベントは、産学官の連携によって新たな地域コミュニティーが誕生する瞬間です。この貴重な瞬間をぜひメディアで取り上げていただければと思います。

2. イベント内容

- ① スマートグラスを利用して公民館とフーズピープル千々石店をオンラインで接続し、ライブコマースのお買い物で、料理の材料を購入。(10:00-11:00)
- ② 材料購入後、子ども・親・高齢者で協力し合い、料理を作る。(11:00-12:00)
- ③ 皆で実食 (12:00-13:00)

3. 開催日時

令和5年8月23日(水) 10:00~14:00

4. 開催場所

吹ノ原公民館 (長崎県雲仙市吾妻町永中名 873)



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学経済学部西村ゼミ

E-mail: nagasakiuni.nishimura2023@gmail.com TEL: 080-1775-1250 (担当: 吉住)

担当教員: 西村宣彦 (nishimra@nagasaki-u.ac.jp) 電話番号: 090-8392-4598 (西村宣彦)